

『第5期中期計画』をスタート(令和5年度～8年度)

「県内企業の技術力向上や高収益化
県内産業の発展につながる質の高い技術支援」を目指して

令和5年度から4か年計画で始まる「第5期中期目標を達成するための計画」(以下、「第5期中期計画」という。)では、「県内企業の技術力向上や高収益化、県内産業の発展につながる質の高い技術支援」を目指し、「県内企業への幅広い技術支援」と「挑戦する企業の技術開発支援」を柱として積極的に県内企業への支援を推進します。

活動の柱	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業への幅広い技術支援 ・挑戦する企業の技術開発支援
活動方針	SDGs・カーボンニュートラルに向けた取組
重点プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルトランスフォーメーション(DX)推進による生産性向上 ・フードテック(※)を活用したフードロスの削減と食品の高付加価値化

(※)フードテック:「Food」と「Technology」を組み合わせた言葉で、最新の科学技術を活用し、従来にはない新しい食品材料や調理方法などを生み出す食の最先端技術。

DX推進による生産性の向上

第4期中期目標期間に実施した「製造業の生産性向上を目指したAI・IoT・ロボット等の導入支援」に引き続き、第5期中期目標期間においても「DX推進による生産性向上」に取り組めます。

令和5年度は現場でのDX実装を進めるための調査を進め、そのために必要な実践的な研修や専門家派遣による現場指導、当センター職員による支援、企業と共同で導入に向けた技術開発を行います。このほか、当センター「オーダーメイド型技術者育成事業」に「AI・IoT・ロボット技術習得コース」を設け、DX化に向けて挑戦する企業の課題解決をセンター研究員とともに進めます。



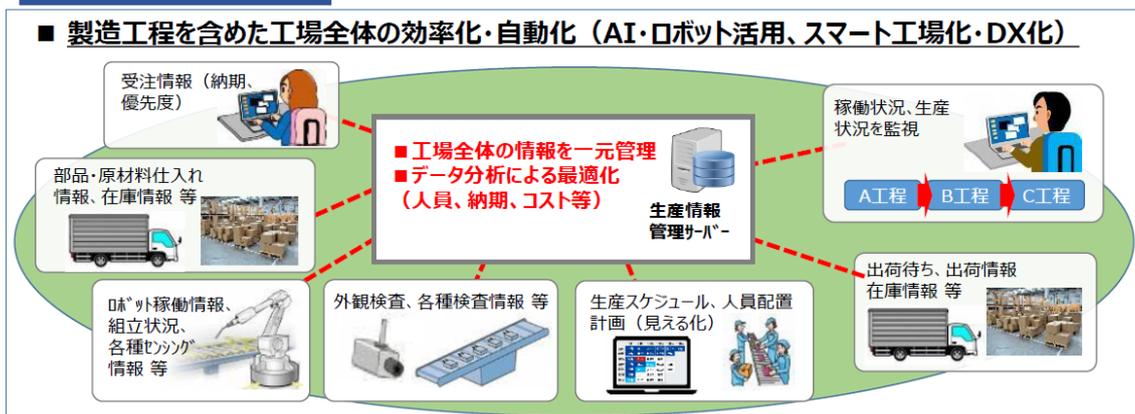
「とっとりロボットハブ」の活用

令和5年度 製造業スマートファクトリー化推進事業 (県委託事業)

「とっとりロボットハブ」を活用した生産性向上の取組(人材育成、導入支援等)を発展させ、デジタル技術やIT技術(ソフトウェア技術)を駆使し、県内製造業の多品種少量生産形態の高度化やオーダーメイド生産型に対応した工場全体のDX化(スマートファクトリー化)を支援します。

また、技術者を育成するとともに、DX化に課題を有する企業に対して助言を行う専門家の派遣や、DX化に取り組む企業が活用可能なIoTツールを開発し普及を図ることにより、DXの現場実装を推進します。

【スマートファクトリーのイメージ】



DX・ロボット導入・工程自動化の専門家を派遣する事業はこちらをのQRコードを参照ください。



フードテックを活用したフードロスの削減と食品の高付加価値化

食品産業の再生と持続的発展を実現させるために、フードテックを活用し、食品関連産業の課題であるフードロスの削減につながる技術開発を行うとともに、鳥取県らしい食品開発や高付加価値化を支援します。

令和5年度は県や外部専門家(研究機関、有識者等)、産業支援団体等と連携して、加工残渣や副産物、規格外品等の企業現場の情報収集から、フードテックを活用したアップサイクルのための研究開発を行い、さらに付加価値の高いユニバーサルフードデザインの新製品開発を目指します。



令和5年度 フードテック活用食品開発促進事業（県委託事業）

県内食品関連企業の新分野進出、新規事業立ち上げ等に繋げるために、フードテックを活用した従来にはない新しい加工方法や食品原材料等を開発します。また、海外展開も視野に入れ、食の多様性(ヴィーガン、ハラール、高齢者向け等)に対応した高付加価値の新商品開発等を目指します。

フードテック活用食品の動向・消費者ニーズ等を勘案して、開発ターゲット方向性を決定したうえで、その後県内で発生している加工副産物等を活用した新食品開発を行います。

なお、試作段階で試食会の開催や展示会へ出展し、それらで得られた意見を参考に改善を行います。

SDGs・カーボンニュートラルに向けた取組

鳥取県産業技術センターでは、第5期中期計画にセンター全活動の大方針として「SDGs・カーボンニュートラルに向けた取組」を掲げていますが、求められる内容は多種多様です。県内の製造業の皆様が進めていかねばならない取組について一緒になって考えていくため、「環境配慮型の材料開発」と「製造工程における脱炭素化」につながる2つの研究会を令和5年度に立ち上げます。

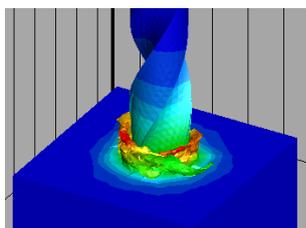
環境配慮型有機材料研究会（電子・有機素材研究所）



本研究会は、県内企業のカーボンニュートラルに向けた動きを具体的な環境配慮型材料活用の取組みにつなげ、製品開発及びその普及へと発展させることを目指します。

樹脂や有機材料を取り扱う素材、樹脂成型関係、自社で成形加工も行う電気・電子関係他、関係する様々な分野の企業の皆様と共に、今後重要となってくる、生物資源や再生樹脂等を活用した“環境配慮型材料”とはどのようなものか、どのような性質を持ち、どのように活用できるか、講習会や実習などを通じて考えていきます。

グリーンものづくり新技術研究会（機械素材研究所）



本研究会は、脱炭素化社会の実現に向け、次世代輸送機器や環境エネルギー等の成長産業分野への参入を目指す県内企業の技術革新ニーズに沿った事業を展開します。

環境負荷低減と高付加価値化を両立するものづくり技術等についての提案・発信する技術セミナー、加工現象の可視化実験等を通じて革新的な研究テーマの萌芽を促す企業参加型共同実験、県内企業の製品や技術とセンターの技術・知見を組み合わせる技術革新の創出につなげる巡回訪問を行い、新技術の発掘や共同研究プロジェクト等への発展を目指します。